

パーソナルデータ連携モジュール

pxr-block-proxy-service ビルド手順書

2022 年 10 月 1 日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	変更内容
1.0	2022/10/1	新規作成

目次

1	はじめに	4
1.1	前提条件	4
2	ビルド手順	5
2.1	サービスをビルドする	5
3	Unit Test 手順	6
3.1	DB を作成する（1 環境につき初回のみ）	6
3.2	SCHEMA, TABLE を作成する（1 環境につき初回のみ）	6
3.3	UNIT TEST を実行する	7
4	pxr-block-proxy-service 起動手順	8
4.1	PXR-BLOCK-PROXY-SERVICE を起動する	8
4.2	WEB ブラウザでアクセスする	8
5	Docker コンテナイメージ作成手順	9
5.1	DOCKER コンテナイメージを作成する	9
5.2	DOCKER コンテナイメージをレジストリに登録する	9

1 はじめに

本書は、パーソナルデータ連携モジュールの一部である、pxr-block-proxy-service のビルド手順および Unit Test 手順について記載・説明する。

1.1 前提条件

- Node (12.22.10) がインストールされていること
 - PostgreSQL (12.x) がインストールされていること
 - Docker (20.x) がインストールされていること
- ※Docker コンテナを使用したパーソナルデータ連携モジュールを構築する場合

2 ビルド手順

pxr-block-proxy-service のビルド手順について記載する。

※本書では作業ディレクトリをホームディレクトリ配下としているが、任意のディレクトリを作業ディレクトリとすることも可能である(その場合は作業ディレクトリを読み替えて実行すること)。

2.1 サービスをビルドする

事前準備として、作業ディレクトリ配下に「pxr-block-proxy-service」のプロジェクトを配置しておくこと。

以下のコマンドを実行し、エラーが出ないことを確認する。

Linux	Windows (PowerShell)
\$ cd ~/pxr-block-proxy-service	\$ cd ~/pxr-block-proxy-service
\$ npm i	\$ npm i
\$ npm run build	\$ npm run build

3 Unit Test 手順

pxr-block-proxy-service の Unit Test 手順について記載する。

3.1 DB を作成する（1 環境につき初回のみ）

以下を実行する。

（Linux 環境はコマンドラインで実行した例を、Windows 環境では pgAdmin4 を利用した例を示す）

Linux	Windows
<pre>\$ psql -U postgres ---- postgres=# CREATE DATABASE pxr_pod WITH OWNER = postgres ENCODING = 'UTF8' LC_COLLATE = 'C' LC_CTYPE = 'C' TABLESPACE = pg_default CONNECTION LIMIT = -1 ; ----</pre>	<ul style="list-style-type: none">・pgAdmin4 を起動する・左のメニューから Servers> PostgreSQL 12> データベースの順に開き、データベースを右クリックして作成> データベースを選択する・データベースに「pxr_pod」と入力して保存する

3.2 Schema, Table を作成する（1 環境につき初回のみ）

事前準備として、作業ディレクトリ配下に ddl ディレクトリを配置しておくこと。

以下を実行する。

（Linux 環境はコマンドラインで実行した例を、Windows 環境では pgAdmin4 を利用した例を示す）

Linux	Windows
<pre>\$ cd ~/ddl/db/pxr-block-proxy-service \$ psql -U postgres -d pxr_pod -f createDB.sql \$ psql -U postgres -d pxr_pod -f createTable.sql</pre>	<ul style="list-style-type: none">・3 で作成した pxr_pod を右クリックして、クエリツールを選択する・右側に表示された画面で、ファイルを開くを選択し、ddl リポジトリの db¥pxr-block-proxy-service 配下にある createDB.sql を開く・実行を選択し、「ログイン/グループロール」に pxr_block_proxy_user が作成されていること、pxr_pod のスキーマ配下に

	pxr_block_proxy が作成されていることを確認する ・クエリツール画面で、ddl リポジトリの db¥pxr-block-proxy-service 配下にある createTable.sql を開いて、実行する
--	---

3.3 Unit Test を実行する

以下のコマンドを実行し、エラーが出ないことを確認する。

Linux	Windows (PowerShell)
\$ cd ~/pxr-block-proxy-service	\$ cd ~/pxr-block-proxy-service
\$ npm run jest-clear	\$ npm run jest-clear
\$ npm run test:unit	\$ npm run test:unit

4 pxr-block-proxy-service 起動手順

pxr-block-proxy-service の起動手順について記載する。

4.1 pxr-block-proxy-service を起動する

以下のコマンドを実行する。

Linux	Windows (PowerShell)
\$ cd ~/pxr-block-proxy-service \$ npm run start	\$ cd ~/pxr-block-proxy-service \$ npm run start

4.2 Web ブラウザでアクセスする

以下を実行する。

Linux	Windows
Web ブラウザで以下にアクセスし、Swagger が表示されること http://localhost:3003/api-docs/	Web ブラウザで以下にアクセスし、Swagger が表示されること http://localhost:3003/api-docs/

5 Docker コンテナイメージ作成手順

Docker コンテナイメージを作成する手順について記載する。

コンテナを使用したパーソナルデータ連携モジュールの構築手順については以下を参照すること。

パーソナルデータ連携モジュール 構築ガイド

5.1 Docker コンテナイメージを作成する

以下のコマンドを実行する。

Linux	Windows (PowerShell)
<pre>\$ cd ~/pxr-block-proxy-service \$ docker build -t {イメージ名}:{タグ} .</pre>	<pre>\$ cd ~/pxr-block-proxy-service \$ docker build -t {イメージ名}:{タグ} .</pre>

5.2 Docker コンテナイメージをレジストリに登録する

以下のコマンドを実行する。

Linux	Windows (PowerShell)
<pre>\$ cd ~/pxr-block-proxy-service \$ docker tag {イメージ名}:{タグ} {Docker リポジトリ名}/{イメージ名}:{タグ} \$ docker push {Docker リポジトリ名}/{イ メージ名}:{タグ}</pre>	<pre>\$ cd ~/pxr-block-proxy-service \$ docker tag {イメージ名}:{タグ} {Docker レジストリ名}/{イメージ名}:{タグ} \$ docker push {Docker レジストリ名}/{イ メージ名}:{タグ}</pre>